# ONCC10期 ぶらっと散策3 第6回探訪

川西コース (加茂遺跡、川西市文化財資料館、鴨神社など)

探訪日:2022年9月22日(木)

天気:小雨のち曇り

時間:集合 9時50分 解散 12時30分

参加者: 受講生 33名 CA3名 川西市文化財ボランティアガイドの会6名

蒸し暑く、鬱陶しい天候の中、今回は川西コースで、JR 川西池田駅から、川西市文化財ボランティアガイドの方の案内で、2つの班に分かれて散策しました。

コースは JR 川西池田駅前の源満仲像→加茂遺跡→川西市文化財資料館→鴨神社→加茂井です。

### (1) 源満仲像

清和源氏の礎を築いた源満仲像を見ながら、清和源氏の系図の説明を受けました。 清和天皇の曾孫である源満仲が川西に移り住みついて勢力を広げた、と言われています。 鎌倉幕府を開いた源頼朝、室町幕府を開いた足利尊氏は源満仲の子孫です。



JR川西池田駅に集合し、ボランティアガイドの方と合流。川西コースの散策をスタート



清和源氏の礎を築いた源満仲公の像

#### (2) 加茂遺跡

JR 川西池田駅の南西約200mの高台にある弥生時代の巨大集落遺跡が見つかっています。 標高約40mの台地で広さ約20万平方メートルの巨大な環濠集落があります。

明治44年偶然銅鐸が出土、大正4年に鴨神社周辺で多数の弥生土器や石器が見つかり、遺跡の存在が明らかになり、その後の発掘調査により、居住区、環濠、墓地などの構成が見つかりました。 遺跡跡地は発掘後埋め戻されて、現在遺構等は写真でしか見ることが出来ませんが、当日は発掘している現場を見学することが出来、ラッキーでした。





遺跡が発掘された現場だと説明を受けるが 高台のただの広場、遺跡の実感が湧かなかった



遺跡発掘中の現場を見学 穴の部分は柱跡など建造物があった痕跡

## (3) 川西市文化財資料館

川西市内の遺跡から出土した文化財の収蔵、展示施設。加茂遺跡から出土した、銅鐸、石器、土器、木製の船、など多数の展示品をボランティアガイドさんの説明で見学しました。



文化財資料館外観



木製の船



出土した石器類



土器類

銅鐸(高さ114cm) 実物は東京の国立博物館に収蔵 資料館ではレプリカを展示



耳の一片は後に 発掘されたもので 本物が展示されている

## (4) 鴨神社

鴨神社は、『延喜式(えんきしき)』と言う、今から1千年以上昔に作られた書物の摂津国川辺郡(せっつこくかわべぐん)の項に記載されていることから、創立年代は相当古いと思われますが、神社には古文書などの歴史を探る資料は全く残っていません。

加茂遺跡の考古学的成果と鴨神社の創立由来を直接的に結びつけることはできませんが、鴨神社が弥生式遺跡の中心地に鎮座していることは事実で、推測すれば、鴨神社の創始は、弥生時代以来の地域集落の住民の安全や、稲作の豊穣(ほうじょう)を願う祈りの場所であったに違いないと考えられています。







鴨神社 本殿